

市政の動き

平成21年度予算を可決

～予算審査特別委員会審査報告～

3月議会では、市長より平成21年度歳入歳出予算案（一般会計及び7つの特別会計）が提案されました。今年度予算は「骨格予算」となっており、議会では、全議員（20名）からなる予算審査特別委員会を設置し、3月5、6、9日の3日間で審査を行い、採決の結果、一般会計予算は賛成多数で7つの特別会計予算は全員賛成をもって、可決しました。

一般会計予算は、148億4,900万円で、前年度比2・4%の減。主な事業は、端間駅周辺地区計画道路整備事業8,773万9千円、小郡小学校耐震補強事業5,550万1千円など。
特別会計予算は、合計12億9,825万円で、前年度比3・3%の減となっています。

（「骨格予算」とは、市長選挙などの際に義務的経費、人件費、公債費、生活保護などの扶助費）を中心として編成した予算。選挙後、政策の予算を補正予算で編成する。）

以下、特別委員会での主な質疑の内容を報告します。

行財政運営

まちづくり支援事業

問：まちづくり支援基金の積み立て状況と事業について。
答：ふるさと納税分とまちづくり支援自販機売上金寄付分で150万円予算計上しているが、平成20年度はふるさと納税が1件で20万円、まちづくり支援自販機は予定したほどではなかった。今年度の積み立て状況を見てどのような事業をするか検討したい。

不動産売却収入

問：寺福童第3市営住宅跡地の売却方策をどう考えているのか。
答：全11区画のうち9区画残っているが、価格を見直すのか、周辺の条件整備をするのかなど検討している。

行政評価システム推進事業

問：行政評価をどのような方法で進めていくのか。
答：庁内での共通理解が必要であり、平成21年度は評価対象となる事務事業を各課一つ

か二つ選定し、2年目以降に有識者を入れた第三者委員会による評価を検討している。

収納体制

問：滞納整理指導員の評価、効果について。
答：新人職員に対し国税徴収法を中心にした実務研修や差押え不動産公売の指導をしており、今回初めて不動産の公売をするなど効果が出ている。

都市基盤

道路交通網の整備

問：市道二森・八坂34号線の整備状況について。
答：当初予算に工事費は計上していないが、現在南の方を設計しており、できれば工事費は追加補正をしたい。工事は平成22年度に完成する予定である。



▲市道二森・八坂34号線(八坂カントリー横まで工事済)

〈参考〉本市の財政状況

主な財政指標でみる本市の状況は、次のとおりです。（数値は平成19年度決算による。一般会計ベース）

- ★経常収支比率：地方税や普通交付税等の経常一般財源に占める人件費や扶助費等の義務的経常経費の割合。低いほど財政構造が弾力性に富んでいる。本市は96・9%
- ★起債制限比率：経常的な収入のうち公債費に充てられたものの占める割合。20%を超えると地方債の発行が制限される。本市は15・5%
- ★実質公債費比率：税収や交付税に対する地方債などの負債の割合。18%を超えると地方債発行に許可が必要となる。本市は16・3%
- ★市債：資金調達のために一会計年度を超えて行う借入れ。市債残高は210億円（平成20年度決算見込）
- ★公債費：各年度に返済した市債の元利償還額。21年年度予算24億2千万円

問：市道大保・今隈10号線の整備状況について。

答：補助事業の期限が平成22年度までとなっており、平成21年度に県の収用委員会と協議しながら用地買収を進め、平成22年度に工事を完成したい。

コミュニティバス

問：年間約3、500万円の赤字のようだが、利用者の増加策にどう取り組むのか。

答：福祉バスの意味合いがあるので赤字はやむを得ない。利用者は市北部が多いが、宝満川左岸、南部は少ないのでルート変更等で利用者増を図りたい。

消防・防災

問：消防団第2分団（三国校区）が2部制になったが、団員の配分と人員について。

答：西鉄天神大牟田線の東側を第一部、西側を第二部とし、団員定数は各25人であるが、当面は各20人体制でいきたい。

活力ある産業

農業経営の育成・確保

問：認定農業者対策補助金を24万円計上してあるが、認定農業者の会員は当初の倍の1

00人を超えている。補助金額を見直す考えはないのか。

答：予算の確保は厳しいが、増やす方向で努力したい。

問：農業振興対策事業補助金の内訳について。

観光協会の育成

問：観光協会の取り組みと商工会との連携について。

答：春のモニターツアー実施や観光雑誌へのドライブツアー紹介、観光物産展の開催などしている。商工会との連携については、市民まつりへの積極的な参加や観光協会主催の物産展等に商工会として参画いただいている。



▲観光物産展

商業の活性化

問：商店街活性化ががんばろう会事業補助金を昨年度の半額の50万円にした理由は。

答：昨年度は、初期投資ということで100万円補助して法被やスタンド等を購入。今年度はソフト事業を継続し、商店巡りツアーやチラシマップの発行等を150万円程度の事業費ベースで検討している。

快適な住環境

下水道の整備促進

問：宝満川流域下水道事業の概要について。

答：事業負担金として、4、065万7千円を計上している。施設稼働後20年経過しており、浄化センターの沈砂池、脱臭装置、送風機及び力武ポンプ場の施設更新とメンテナンスを行うもの。

環境衛生対策

問：筑紫野・小郡・基山清掃施設組合負担金の積算基礎及びリサイクルの取り組み状況について。

答：議会費は均等割、総務費等は均等割と共通割、衛生費

は搬入量割と地元対策分の均等割、公債費は均等割10%人口割90%で積算している。小郡市は処理場搬入前に資源ごみを分別しており、人口比は33・37%だが燃えるゴミに係る経費は29・66%と取り組みの効果が出ている。

問：下排水路浚渫しゅんせつ補助金について。

答：下排水路清掃は各区で行ってもらっているが、浚渫（しゅんせつ）については、費用の2分の1、16万円を上限に補助するもので、2箇所分を計上している。なお、緊急を要する箇所があった場合は、補正で対応したい。

都市公園の整備

問：公園に障害者用トイレを増やしていく考えはあるのか。

答：現在維持管理に手いっぱい状態であり、具体的に障害者用トイレ設置に至っていない。まず、人命にかかわる遊具の点検を平成21年度はしていこうと予算計上しており、今後、新設の公園については誰でも使えるトイレを計画していきたい。

健康と福祉

特定健康診査・特定保健指導事業

問：事業の取り組み状況について。

答：特定検診の受診率は36・3%で県内の市で上から2番目である。受診者約1万人のうち500人程度が保健指導の対象で65歳以上は医療機関が直接、64歳以下は健康課及び医療機関の保健師、管理栄養士が指導している。平成21年度は受診率向上に取り組む。

妊婦健康診査

問：妊婦健康診査は全国的に14回になっている。小郡市は5回だがどう考えているのか。

答：昨年6月に2回を3回に増やした。平成21年度は、当初予算で5回としたが、その後国から14回の話が出た。今回は骨格予算のため6月補正予算での対応を検討したい。



高齢者福祉

問：生きがい活動支援通所事業の内容と状況の説明を。

答：在宅高齢者がデイサービスに行き入浴や弁当を食べたりし日中を過ごすもので、家に閉じこもりがちの方が対象。月4回利用可能で1回1,500円の個人負担あり。平成20年度は1月末現在4,527人の利用がある。

障害者福祉

問：就労支援事業について。

答：こぐま学園に事業を委託しており、3週間から1カ月の訓練後、本人の希望に沿った仕事をハローワークと連携し決定。昨年は1人の方が自立された。

教育・地域文化

コンピュータ教育

問：小・中学校教職員用ノートパソコンの配置は完了したのか。また、主に何に利用しているのか。

答：平成21年度には、ほぼ配置完了する。利用の主なものとして文書作成や成績管理などがある。

学校施設整備

問：耐震工事の終了時期と大規模

改修工事の再開時期はいつか
答：耐震工事は平成23年度に終わらせ、平成24年度から大規模改修工事に取りかかりたい。

小郡官衙遺跡群の整備

問：小郡官衙遺跡群用地買収事業について。

答：小郡官衙遺跡は約1,012㎡が未買収で、平成21、22年度で買収し、上岩田遺跡は土地開発公社所有地を平成25年度くらいまでに国の補助も活用しながら買収したい。



▲小郡官衙遺跡

図書館機能の充実

問：ほかの図書館にはないサービスはどのようなものがあるか。

答：病院への移動図書館を実施し患者へ貸し出しをしている。他に目の不自由な方、高齢者や障害者で図書館へ来られない方への宅配サービスもしている。

総務文教

常任委員会報告

総務文教常任委員会は、3月4、11日に開催され、付託を受けた執行部提出議案15件（分割付託2件を含む）及び依頼2件の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

定額給付金について

（議案第9号）

住民の生活支援と地域経済

対策を目的として定額給付金

事業を行うため9億4,024

万2千円を補正するもの。

問：郵送や特設会場の窓口で

も申請することができない人

への対応について。

答：入所（入院）者は施設長、

独居老人は民生委員、他に里

親や後見人が代理申請できる

ようになっている。

小郡市総合振興計画審議会条例

の一部を改正する条例について

（議案第24号）

委員数を30人から15人に変

更し、関係団体の役員、識

見を有する者、公募による市

民を委員とするもの。

問：委員選出母体の人数配分

の考えについて。

答：公募による市民は2名程

度、識見を有する者は多くて

3名程度と考えている。

環境福祉

常任委員会報告

環境福祉常任委員会は3月4、12日に開催され、付託を受けた執行部提出議案9件分割付託2件を含むの審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

子育て応援特別手当について

（議案第9号）

多子世帯の幼児教育期の生

活安心の確保を目的に子育て

応援特別手当支給事業を行う

ため3,827万4千円を補

正するもの。

問：申請書の送付時期と申請

期限及び基準日以降に死亡し

た場合について。

答：4月中旬に申請書を発送

申請期限は受付開始日以降6

カ月。基準日（2月1日）に

住民基本台帳に登録されてい

れば支給される。

地域商品券発行事業につ

いて（議案第10号）

定額給付金の支給時期に合わ

せ、商工会が事業主体となつて

発行する地域商品券のうちブレ

ミアム分、10%を補助するため

1千万円を補正するもの。

問：補助金を1千万円にした

理由について。

答：商工会から商工会が行う

商品券事業に10%程度の補助

要望があり、市の現在の状況

過去の実績、近隣市の状況等

を踏まえて検討した結果、1

千万円に決定した。

都市建設

常任委員会報告

都市建設常任委員会は、3月13日に開催され、付託を受けた執行部提出議案4件（分割付託1件を含む）の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

小郡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について

（議案第17号）
大保地区計画区域内における建築物制限の内容を追加するもの。

問：大保地区の将来的な考え方について。

答：まちづくり委員会、地権者会、市商工会を含めその開発について協議している段階で、具体的なものはなっていない。